

～1月31日は「愛妻の日」～

明治屋×日比谷花壇

愛妻の日直前 合同自主トレ

「妻に感謝を伝える！初めての男の缶詰料理&帰宅花作戦講座」

【日時】1月29日(金) 19:00～ (開場18:30)

【会場】明治屋ホール(東京都中央区京橋2-2-8 明治屋本社ビル7階)

株式会社明治屋(本社:東京都中央区、代表取締役社長:米井 元一)と、株式会社日比谷花壇(本社:東京都港区、代表取締役社長:宮島浩彰)は、1月31日の「愛妻の日」に向けて、「愛妻の日直前 合同自主トレ『妻に感謝を伝える！初めての男の缶詰料理&帰宅花作戦講座』」を1月29日(金)19時から明治屋ホールで実施します。

1月31日(日)は日本愛妻家協会が制定した愛妻の日です。オリジナル商品「おいしい缶詰」を販売する明治屋と、2008年から「愛妻の日 男の帰宅花作戦」を展開している日比谷花壇とがコラボレーションし、料理が苦手、お花の名前もわからない、というような男性でも気軽に妻に感謝を伝えられるよう、少しの工夫でおしゃれに妻をもてなせる「おうちビストロ」を提案します。

「妻に感謝を伝える！初めての男の缶詰料理&帰宅花作戦講座」は、明治屋のグルメ缶詰「おいしい缶詰」を活用した料理の盛り付けと、ダイニングテーブルを彩る簡単フラワーアレンジメントの講座です。フードスタイリストのマロン氏と、日比谷花壇シニアデザイナーの笥久美子を講師に、「おいしい缶詰」を活用した簡単かつ素敵にみせる盛り付けテクニックのデモンストレーションを行い、その後、盛り付けとフラワーアレンジメントづくりを実践します。

愛妻の日の夜は簡単、かつおしゃれに、お手製の料理とお花で、奥様に感謝の気持ちを伝えてみませんか。



▲おうちビストロイメージ

■ 開催概要

【名称】愛妻の日直前 合同自主トレ『妻に感謝を伝える！初めての男の缶詰料理&帰宅花作戦講座』

【日時】1月29日(金) 19:00～ (開場 18:30)

【会場】明治屋ホール(東京都中央区京橋 2-2-8 明治屋本社ビル 7階)

※東京メトロ京橋駅 A7 出口直結

【講師】フードスタイリスト マロン氏

日比谷花壇 シニアデザイナー 笥久美子

【内容】フラワーアレンジメントレッスン

おいしい缶詰を活用した料理、おうちビストロ講座
試食(ワイン1杯、ソフトドリンク付き)、質問タイム

【募集定員】男性30名 *既婚・未婚問わず

【料金】前売のみ 1,800円

【チケット取扱】チケットぴあ(販売期間:1/8～1/20)、e+(イープラス)(販売期間:1/12～1/20)

【問い合わせ先】株式会社明治屋 販売推進部 担当:久保、邊見(へんみ) 03-3271-1129(直通)

イベントサイト(株式会社日比谷花壇):<http://aisai.hibiyakadan.com/#meidi-ya>

※アレンジしたお花はお持ち帰り頂けます。

※おいしい缶詰1缶、10%割引特典付き日比谷花壇
特製愛妻家宣言証、日本愛妻家協会×日比谷花壇
特製ハグマツのお土産付

■フードスタイリスト マロン氏 プロフィール

大阪あべの辻調理師専門学校を卒業し、料理研究家、インテリアスタイリストのアシスタントを経験後、1983年に日本でのフードスタイリスト第1号として独立。雑誌、書籍、テレビ、ラジオ、新聞、広告、イベント、講演会など多方面で活躍。調理器具の開発にも取り組み、「マロンパン24cm」が人気を集めている。現在ぐるなびが運営する食のキュレーションサイト「ippin」のキュレーターとしても活躍中。



■日比谷花壇 シニアデザイナー 笥久美子 プロフィール

花そのものの生き生きとした美しさを、繊細な感性と確かな技術力で商品企画する日比谷花壇シニアデザイナー。ポップで愛らしい、カジュアルなデザインが魅力のブランドを数々と手掛け、微妙で繊細な色合いを生かした、やさしいデザインワークで、数多くの心とませるプロダクトをカタチづけてきた。



■明治屋「おいしい缶詰」について

明治屋「おいしい缶詰」は、2014年2月に発売した惣菜タイプのグルメ缶詰で、明治屋ストアおよび全国のスーパーマーケット・コンビニエンスストア等にて販売しています。素材と製法にこだわり、お酒のおつまみとしてはもちろん、ご飯のおかずにも合う商品として、具材からソースまで一缶まるごと味わえる缶詰となっております。発売約1年半で売上げ9億円を突破し、前年同月比で出荷数1.3倍と右肩上がり売上げを伸ばしています。この販売好調を受けて、2015年8月24日には新たに6商品を投入し、全36品のラインナップで展開しています。



■日比谷花壇 男の帰宅花作戦 について

日比谷花壇は、「愛妻の日をきっかけに、言葉に出して言えない愛と感謝の気持ちを花とともに伝え、夫婦の絆を深めよう」と呼びかける「愛妻の日 男の帰宅花作戦」を2008年から毎年展開し、今年で9年目を迎えます。花が、夫婦の絆を深める役割を果たすことができると考え、日本愛妻家協会が行う愛妻の日の活動に賛同し、喜びや感動をもたらすことができる“花”が夫婦のコミュニケーションのきっかけとなり、夫婦の絆が深まるよう、この取り組みを通じて広く呼びかけていくとともに、多くの夫婦を応援していきたいと、各種活動を展開しています。日比谷花壇 愛妻の日男の帰宅花作戦 詳細: <http://aisai.hibiyakadan.com/>

■「愛妻の日」とは

愛妻の日(1月31日)とは、“妻というもっとも身近な存在を大切にすると世界はもう少し豊かで平和になるかもしれない”、という理想のもと、日本独自の伝統文化かもしれない愛妻家というライフスタイルを、世界に広めていこうと日本愛妻家協会が行う文化活動です。そして、愛妻家のための象徴の日として1月31日を「愛妻の日」と制定しました。愛妻の日は1月31日の1をアルファベットの「アイ」31を「サイ」と読んだものです。

「日比谷公園の中心で妻に愛を叫ぶ」開催決定！

株式会社日比谷花壇と日本愛妻家協会が2008年から毎年開催している「日比谷公園の中心で妻に愛を叫ぶ(略称:ヒビチュー)」を、2016年1月28日(木)17時から実施します。日比谷公園の大噴水前に設置された特設「叫び台」から、日頃言えない奥さまへの愛の言葉を大空に向かって叫んでみませんか。奥様の名前、もしくは愛の言葉・感謝の言葉を叫んだ男性に、“永遠の愛”を花言葉に持つチューリップの花束と、愛妻家宣言証、特製ハグマットをプレゼント。詳しくは <http://aisai.hibiyakadan.com/#aiwosakebu>